

はじめに

Introduction



札幌市では、平成20年(2008年)4月に全面的に改正した「札幌市中小企業振興条例」において、中小企業振興施策を総合的に策定し実施することを“市の責務”と明記し、これを受け平成23年(2011年)1月に産業振興の方向性を示す10年間の計画として、「札幌市産業振興ビジョン」を初めて策定いたしました。

策定当時の札幌経済は、平成20年秋に発生した米国の大手投資銀行の破綻をきっかけとした世界同時不況の影響などから景気低迷の状況にあったこともあり、現行の札幌市産業振興ビジョンは雇用の受皿を増大・創出することを最重要視してまいりました。

しかし策定から約6年が経過した現在、市内企業の人手不足感の高まりや、道内市場のさらなる縮小が予想されるなど、策定当時と比べ社会経済情勢が変化していることから、この度、札幌市産業振興ビジョンを改定することといたしました。

改定に当たりましては、市内企業1万社へのアンケート調査やヒアリング調査を行ったほか、市の附属機関である札幌市中小企業振興審議会での審議、経済団体との意見交換、市民意見の募集を通して、企業や市民の皆様幅広いご意見をお伺いしながら進めてまいりました。

今後、改定したビジョンに基づき、具体的な施策を展開することで、企業が、そして働く市民の皆様が様々な場面で活躍でき、札幌の経済が躍進し、札幌が大きく飛躍していくための道筋をつけ、「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」と「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という、相互に関係し合い、高め合う2つの札幌の未来の姿を目指してまいります。

最後に、本ビジョンの策定にあたり、熱心にご議論をいただいた札幌市中小企業振興審議会の皆様をはじめ、様々なご意見、ご提案をいただきました経済界、市民の皆様にご心よりお礼申し上げます。

平成29年(2017年)1月

札幌市長 秋元克広